

広報版

信濃小中学校だより そよげわか竹

楽しい学校生活・9年間のスタート!

4月に入学した1年生66名。たくさんのお友達、大きな校舎、そして保育園でも顔なじみのお兄さん・お姉さんや、大人みたいに大きな中学生のお兄さん・お姉さんとの出会い。そんな眼に映る何もかもが新鮮に思える義務教育がスタートして、早3ヶ月が過ぎようとしています。今回は、4月からの生活科学習の様子をご紹介します。

あさがおさん



ひとりずつあさがおを種から育てることにしました。まず最初は、あさがおのお母さんの気持ちになつておなかで種を温めて発芽させることにしました。水を含ませた脱脂綿でそつとあさがおの種を包み、サラララップを巻いて使い古したストッキングでおなかに巻きました。ちょうどおへその上にあるあさがおさんの種に話しかける子どもたち。「はやくおおきくなってね。」二日後、そつと脱脂綿を開くと、中には発芽したあさがおの「赤ちゃん」がいました。(発芽しなかつた種も水を含んで大きく膨らんでいました)早速「赤ちゃん」を、色づけをしたあさがおさんのおうち(プリンのカップ)に移してあげました。

今、発芽したあさがおさんは、大きなおうち(鉢)に移って、どんどんと大きくなっています。夏休みにたくさんのお花を咲かせてくれるのを、今から楽しみにしています。



雪も溶け、温かいお日さまの日差しを浴びながら学校の周りを散歩しました。すると、かわいくてきれいな花や小さな虫たちをいっぱい見つけることができました。それから、よもぎやのびろなどの食べられる植物も発見! みんなでお料理の方法を調べて、学校の調理室で「よもぎだんご」や「のびろせんべい」を作って食べました。とってもおいしかったです。

はるわがし

がっこうたんけん



4月からは習い始めたひらがなも、ひと通り習い終えたので、自分の名前を書いたワッペンや名刺を作つて、「がっこうたんけん」に出かけることにしました。保育園の何倍もの先生の数とたくさんのお教室。すでに休み時間を使って勝手気ままに探検をしている子どもも多いのですが、先生の名前や教室の名称・用途はほとんど知らない子どもたち。わくわくしながら探検を行いました。すると、たくさんのお発見ができました。理科室にはたくさんの実験器具があること、技術室には木を切ったり穴を開けたりする機械があること、などなど。これからの学校生活がますます楽しくなってきましたようです。

